

# スポーツでつながる、未来へつなげる。

スポーツの力で、北海道をもっと元気に！未来をつくる取り組みが始まっています。



北広島市総合体育館で開催された「北海道みらい運動会」。子どもから大人まで約140人がチームに分かれ、シッティングバレーボール、ポッチャ、車いすポトボール、車いすリレーの4種目を楽しみました。

## 誰もが身近にスポーツを楽しめる環境づくりに取り組んでいます。

「北海道みらい運動会」は、2022年を通じてスポーツを通して、世界の舞台上で活躍する選手を多く輩出しています。

「北海道みらい運動会」は、2022年10月に「北海道スポーツ推進条例」を制定しました。

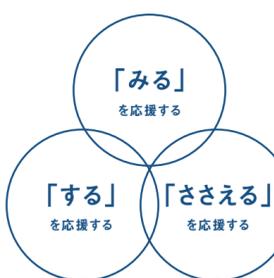
また7月には、「する」「みる」「ささえる」を応援する官民連携組織として「北海道スポーツみらい会議」を設立。条例が目指す、すべての道民がスポーツを通じて健康で豊かな暮らしをつくり、魅力ある人づくりや地域づくりを進めるとともに、持続可能な社会の実現に向け、行政や教育機関、スポーツ団体、プロスポーツチーム、経済界など関係者による協働の取り組みをオール北海道で進めています。

「北海道みらい運動会」は、10月22日、関係団体の協力を得て「北海道みらい運動会」を開催しました。この運動会は、年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、誰もが気軽に参加できるプログラムを通じて障がい者スポーツへの理解を深め、地域で支援の輪を広げることが目的として実施したものです。

運動会には企業・市町村・学校・団体など12チーム約140人が参加。車いすリレーなど4種目のリーグ戦で熱気あふれるプレーを繰り広げ、互いに交流を深めました。

道民の皆さんの「する」「みる」「ささえる」を応援するために、道はこれからもスポーツ振興の取り組みを進めていきます。

## 北海道スポーツみらい会議



北海道スポーツ振興条例の理念の実現に向け、道民の皆さんの「する」「みる」「ささえる」を応援します。



▶特集に関するお問い合わせ／道庁スポーツ振興課TEL.011-204-5209

## 元気とパワーあふれるチームで世界の舞台を目指します。

小学6年のときに両親に勧められて参加した「北海道タレントアスリート発掘育成事業T-ID」がきっかけで、カーリングと出会い、ジュニア時代はユースオリンピックの日本代表を経験し、現在は「北海道銀行」のスキップとして世界を目指す環境でプレーができるのもT-IDという出発点があったからだと思います。

2021年12月に創部された私たちのチームは、元気とパワーが持ち味を勝ち取ったのは、チームの大きな動員になりました。今後は、全日本選手権での優勝を目標に、2026年、そして2030年の五輪での金メダルを目指して頑張ります。

カーリングの面白さは、リードからスキップまで、チームの一人一人の力をつけて、点を重ねていくこと。若い世代の私たちが活躍することで、カーリングの魅力をもっと伝えていきたいと思っています。



スキップの田畑さん(中央)と、チームメンバーでTID出身の中島未琴さん(左)、仁平美来さん(右)

北海道銀行女子カーリング部 リーグズ (愛称:北海道銀行Liners)  
たばたちは 田畑 百葉さん(札幌市)



HASのスクール活動では、パラリンピック種目から新種目までさまざまなスポーツを実践

## 障がい者スポーツの拠点としてジュニア育成に取り組んでいます。

北海道に障がい者スポーツの拠点を、道の「ほっかいどう」未来チャレンジ基金の支援を受け、アメリカに留学、帰国後の2018年にHASを設立しました。HASは、年齢や性別、障がいの有無にかかわらずすべての人がさまざまな種目を楽しめるスポーツの拠点です。私が車椅子ソフトボルの元日本代表監督を務めた経験から、世界で活躍できる選手の育成が必要と考え、チーム活動やスクール活動を通じてジュニア世代の育成に力を入れています。

自分や仲間と真剣に向き合い、自立的な生き方を学べるのがスポーツのすばらしさ。一緒に活動する経験豊富な指導者たちも、障がい者スポーツの普及に取り組んでいます。北海道に根ざしたこの拠点が、スポーツによる新たな人づくりのモデルケースとなるよう、発信力を高めていきます。

※国民が連携して若者の海外留学を支援する助成制度



一般社団法人 アダプティブ  
ホクカイドウ HOKKAIDO ADAPTIVE  
SPORTS (略称:HAS)  
代表理事  
あいひょうた 齊藤 雄大さん(札幌市)

## みんなが笑顔で元気になれるから、ふまねつと運動を続けていきます。

北海道発祥の「ふまねつと運動」は、約50cm四方のマスキ目でできた網を踏まないように歩く運動です。歩行や認知機能の改善に役立つふまねつと運動をみんなで楽しくと、羅臼町では2016年に「クリオネの会」が発足。私も当初からサポーター資格を取得し、ふまねつと運動を続けてきました。現在は、サポーター14人が指導役となり、月3回の教室を開いています。

ふまねつと運動の魅力は、世代を問わず参加したみんなが笑顔で元気になれること。40、90代という幅広い世代が参加してくれるからこそ、私たちサポーターもスキルアップの機会を与えられ、成長させてもらっています。

人生100年時代のいま、高齢になっても自分のことを自分でできるのは大切なこと。ふまねつと運動を通じて、地域のみんなが笑顔になれる健康づくりの場を広げていきたいと思っています。



床に置いた網を踏まないようにステップ。高齢者も楽しめます



クリオネの会  
代表  
よこいわたの 横岩 信子さん  
(羅臼町)

### 新型コロナウイルス感染症対策

※2022年11月24日現在の情報です。

最新情報は [こちら](#)

道民の皆さまへのお願い  
この冬を安心して過ごすために、ご自身の対策が重要です。三密の回避、手指消毒、マスク着用、効果的な換気など、基本的な感染防止行動の徹底をお願いします。普段と異なる症状がある場合は、外出・出勤・登校・登園を控えること、また、混雑した場所への外出など感染拡大につながる行動は控えましょう。

発熱などに備えて  
新型コロナウイルス抗原定性検査キット(医療用・一般用)や解熱鎮痛剤、生活必需品、食料品(5~7日分)などの準備をお願いします。

新型コロナウイルスワクチン接種  
オミクロン株に対応した2価ワクチンの接種対象の方は、早めの接種をご検討ください。また、1・2回目のワクチン接種を終えていない方も、引き続き接種を受けられますのでご検討ください。  
新型コロナウイルスは、インフルエンザワクチンとの同時接種も可能です。

### アドベンチャートラベル・ワールドサミット ATWS通信

ATWS北海道実行委員会事務局  
TEL.011-206-6944

#### ATWS2022(スイス・ルガーノ)で北海道の魅力を発信!

2022年10月3~6日、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2022」がスイスのルガーノで開催されました。ATWS北海道実行委員会では、日本政府観光局(JNTO)が設置した「ジャパンラウンジ」で、来場者に道産日本酒を試飲提供しながら北海道の魅力を紹介したほか、クロージングレセプションで知事のメッセージ動画を発信するなど、「HOKKAIDO LOVE」を合言葉に、次年度開催地としてのPR活動を実施しました。

2023年9月には、いよいよ北海道で「ATWS2023」が開催されます。

ジャパンラウンジでのPR活動  
知事メッセージ動画

北海道ATWSを公開しています!

### ウマ娘等身大パネルがひだか各地に登場!

日高振興局 当別町

競走馬の約8割を生産し、数々の名馬を送り出してきたひだかの各地域に、ウマ娘 プリティーダービーの等身大パネルを設置しました。ぜひ会いに来てね。

日高振興局地域政策課  
TEL.0146-22-9073

当別町 地元高校生が地域の魅力をガイドします!

当別高校では生徒が企画運営する「当別青春フットパス」を毎年実施。これは作家・本庄陸男の歌碑をはじめ、調査船「弁天丸」で次戸川を散策しました。

北海道当別高等学校  
TEL.0133-23-2444

### 地域情報

北海道の各地域から話題をお届けします。

「摩周湖カムイテラス」が改装オープン!

摩周湖第一展望台エリアに改装した「摩周湖カムイテラス」。屋上テラスは24時間開放され、摩周湖はもちろん、早朝は雲海、夜は星空観察も楽しめます。

株式会社弟子屈町振興公社  
TEL.015-482-1530